

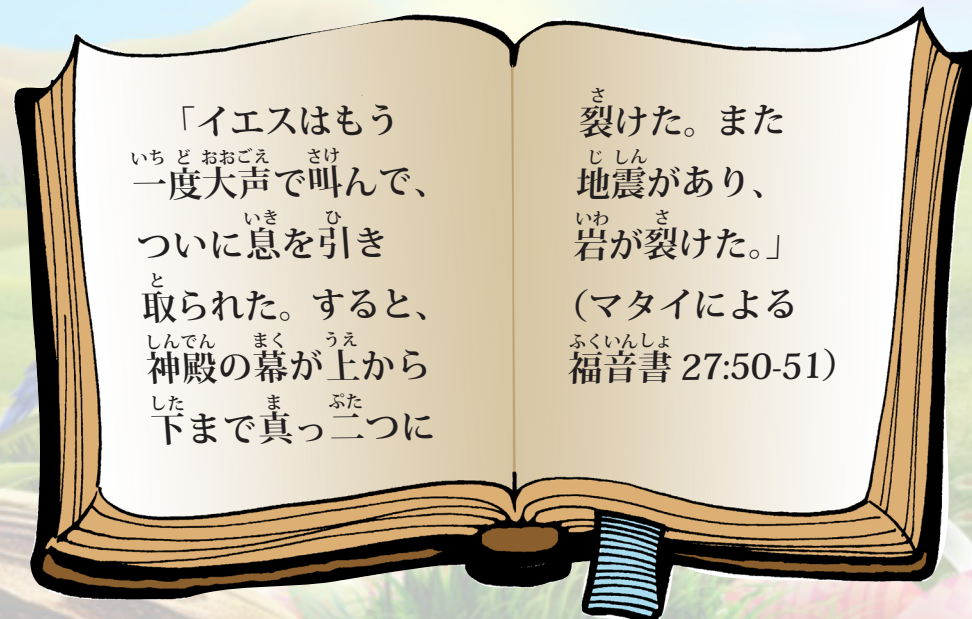
ふっかつさい イースター(復活祭)についてのおどろくべき事実^{じじつ}



イースターについて、
もう少し
知りたいかい？

おどろくべき事実^{じじつ} その1 :
真^まっ二^{ふた}つに引き裂^ひかれた幕^{まく}

イエス様^{さま}が
十字架^{じゅうじか}の上^{うへ}で死^しなれた時^{とき}、
神殿^{しんでん}の幕^{まく}が真^まっ二^{ふた}つに
引き裂^ひかれた。

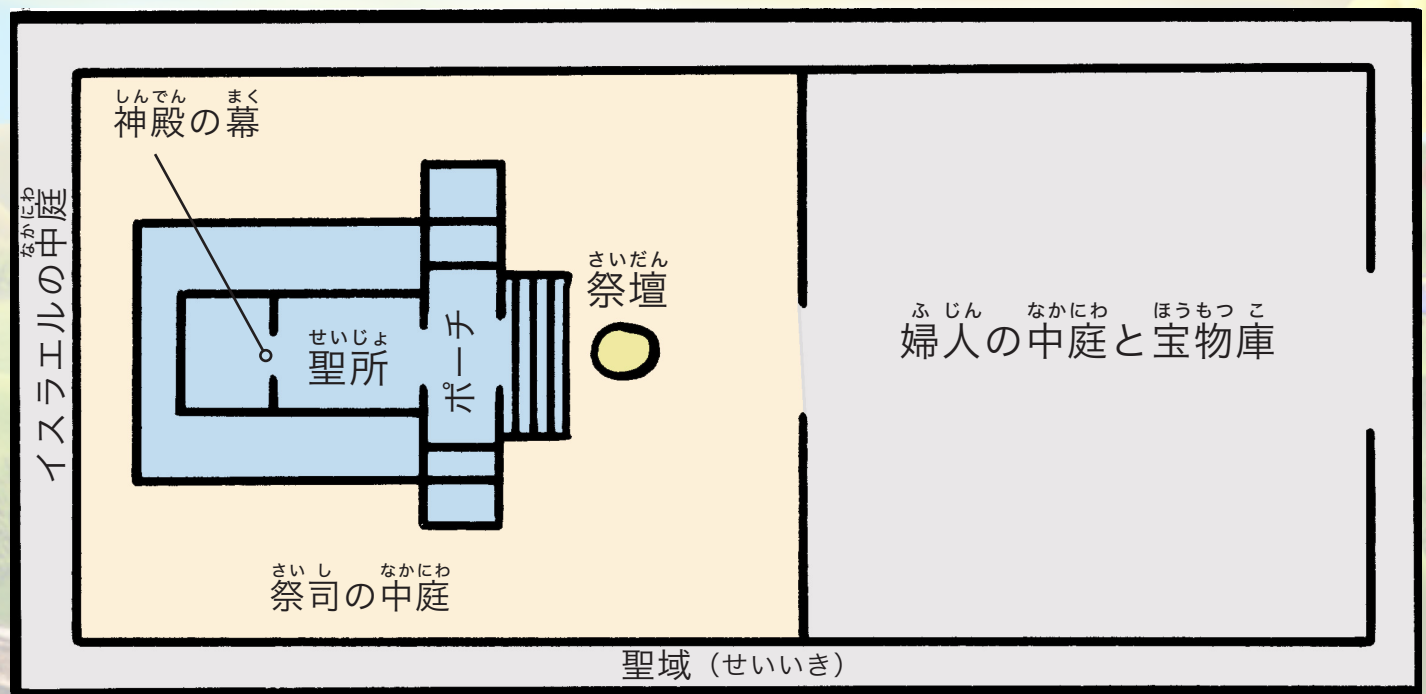




この幕とは、祭司だけが入れる神殿内の聖所と契約の箱が置かれていた至聖所とを区切るための幕のことだ。幕は厚みが10センチもあって、ものすごく重かったんだよ！だから、君たちが今までに見たことのあるどんな布地やしき物やたれ幕よりも重くて分厚い幕が、突然真ん中から裂けたっていうのは、全くの奇跡なんだ！

マルコによる福音書の15:38と、ルカによる福音書の23:44-45も、見てね。

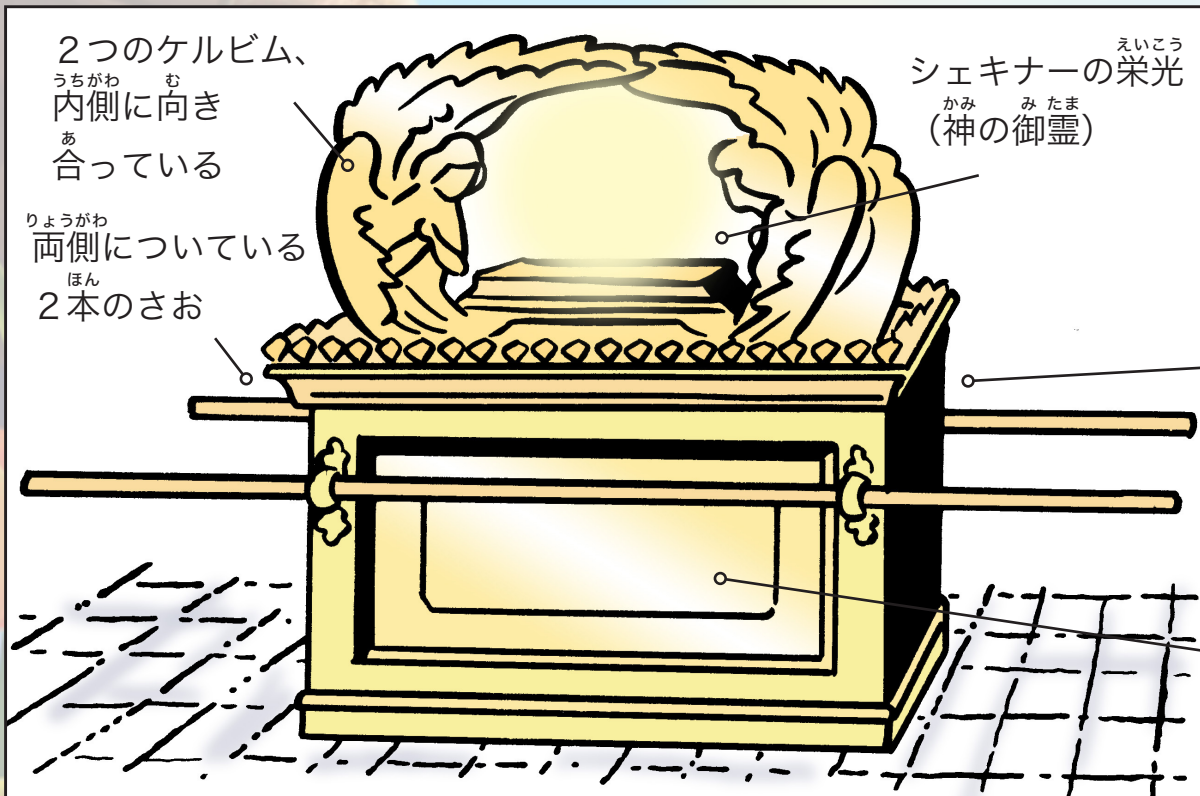
エルサレムの神殿内の構図





けいやく はこ なか きょう れき しじょうな だか き ねん もっと せい
契約の箱の中には、ユダヤ教の歴史上名高い、記念すべき最も聖なる
ものが入っていた。例えば、モーセが受け取った律法の石板（出エジプト記
34:28）や、芽の出たアロンの杖（民数記 17:1-10）なんかね。また、
あら の かみ たみ やしな おも だ はい
荒野で神が民を養ってくださったことを思い出させるために、マナの入った
つばも入っていたんだよ（出エジプト記 16:14-27, 33; ヘブル 9:4）。

けいやく はこ 契約の箱



はこ りょうがわ うちがわ む あ
箱の両側には、内側に向き合った2つの
ケルビムがのっていた。そのつばさは、たがいどうし
向かい合って広がり、その先がふれ合っていた
（出エジプト記 37:7-9, ヘブル 9:5）。その箱で最も
たいせつ き えいこう よ
大切だったのは、シェキナーの栄光と呼ばれる、
ふたり てん し あいだ あらわ あか ひかり
2人の天使の間に現れる明るい光、つまり
かみ み たま あらわ ひじょう
神の御霊を表す非常に明るい光だよ。

はこ き つく
箱はアカシヤの木で作られ、
じゅんぎん いた
純金の板でおおわれている

はこ なか りっぼう せきばん
箱の中：律法の石板、
め で つえ
芽の出たアロンの杖、マナ

だいさいし ねん ど じん とくべつ せい ひ
大祭司は1年に1度だけ、ユダヤ人にとって特別に聖なる日とされて
いる、あがないの日に、契約の箱が置かれている至聖所に入った。
だいさいし ひとびと つみ み が お ぎ せい ち ささ ぎ しき
大祭司は人々の罪を身代わりになって負い、犠牲の血を捧げる儀式で
それをあがなうことを象徴していた。血をふりかけられた大祭司は、
おも ぶ あつ まく おく はい つみ こ かみ まえ
重くて分厚い幕の奥に入り、罪のゆるしを請うために、神の箱の前で
ぎ せい
犠牲の血を捧げたんだ。

イエス様の十字架上の死は、律法（聖書の
そうせい き しんめい き りっぽうしよ しる
創世記から申命記までの律法書に記されている、
じっかい た じん じょうじゆ しめ
十戒とその他のユダヤ人の律法）の成就を示していた。
かみさま し ふっかつ とお
神様はイエス様の死と復活を通して、それらの
ふる びようしゃ せ かい あたら おく もの い か
古い描写を、世界への新しい贈り物と入れ替え
られたんだ！ マタイによる福音書の5:17を
よ
読んでごらん。

だいさいし
大祭司

むね あ
さばきの胸当て、
しゅつ き
出エジプト記 28:15-30

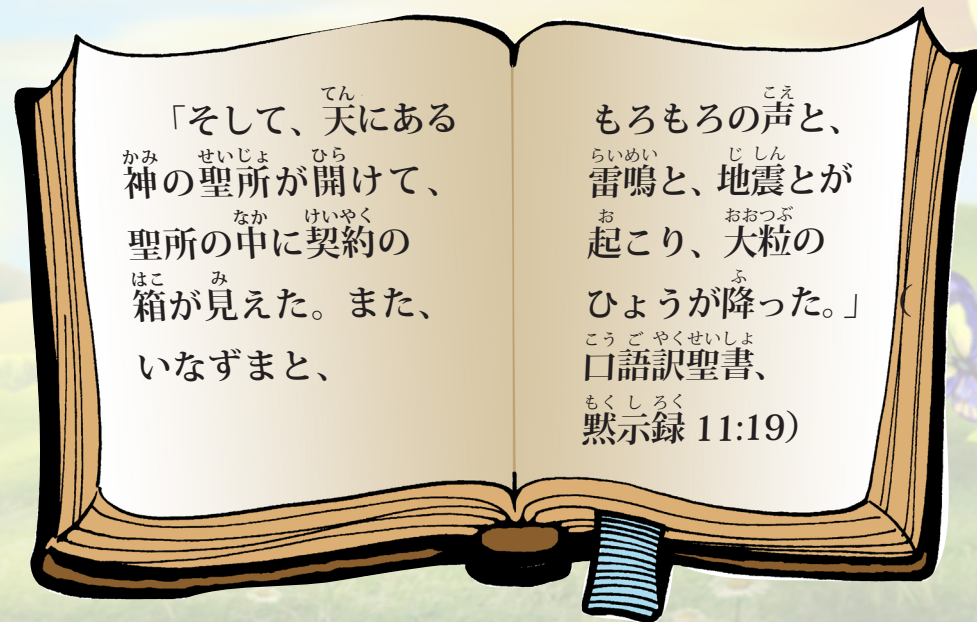
うわ ぎ
エポデ、上着、
しゅつ き
出エジプト記 28:4-30

ころも
衣、出エジプト記 28:31-35

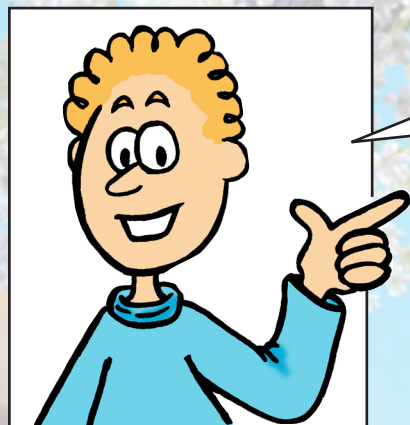
だいさいし いふく
大祭司の衣服に
ついてのくわしい
こと
事は、出エジプト
記 28:1-43、
出エジプト記
29:4-7、
出エジプト記
39:1-31、
レビ記 8:6-9も、
さんこう
参考にしてね。

「そして、天にある
かみ せいじよ ひら
神の聖所が開けて、
なか けいやく
聖所の中に契約の
はこ み
箱が見えた。また、
いなずまと、

もろもろの声と、
らいめい じしん
雷鳴と、地震とが
お おおつづ
起こり、大粒の
ひょうが降った。」
こう ご やくせいしよ
口語訳聖書、
もくしろうく
黙示録 11:19)



おどろくべき事実 その2 : イエス様がどのように死なれたか



神様に感謝することに、君たちやぼくが決して経験しなくてすむように、イエス様は、罪人としての死を身代わりに経験して下さった。それは、単なる十字架上の死や、ひどい身体的な痛みだけじゃない。神様に見捨てられたとさえ感じる、思いと心と精神の苦しみなんだ！ イエス様は、自分がまよった罪人のように感じて、こう言われた。「エリ、エリ、レマ、サバクタニ？」 それは、「わが神、わが神、どうしてわたしをお見捨てになったのですか？」という意味だよ。（マタイによる福音書 27:46）

それが分かると、イエス様がぼくたちのためにして下さったことを、よりいっそう感謝できるようになるね。



おどろくべき事実 その3 : 過越の小羊

イエス様は、過越の祭りの前日に十字架にかけられた。
ユダヤ人が過越の小羊をほふるのと同じ時だ。過越の祭りは、
ユダヤ人がエジプトでの奴隷生活から解放されたことを祝う、
ユダヤ人の休日だよ（出エジプト記 12:11-12）。

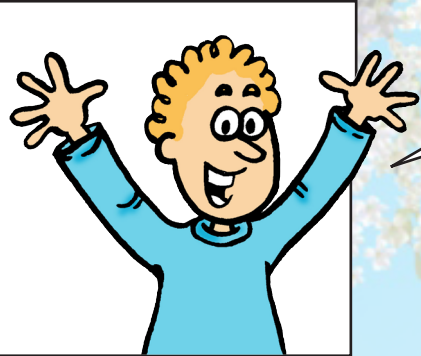


ひとびと
人々がこの特別な安息日の前日に
イエス様をはりつけにしていたころ、
イスラエル中ではユダヤ人たちが
過越の羊を選び、ほふっていた。

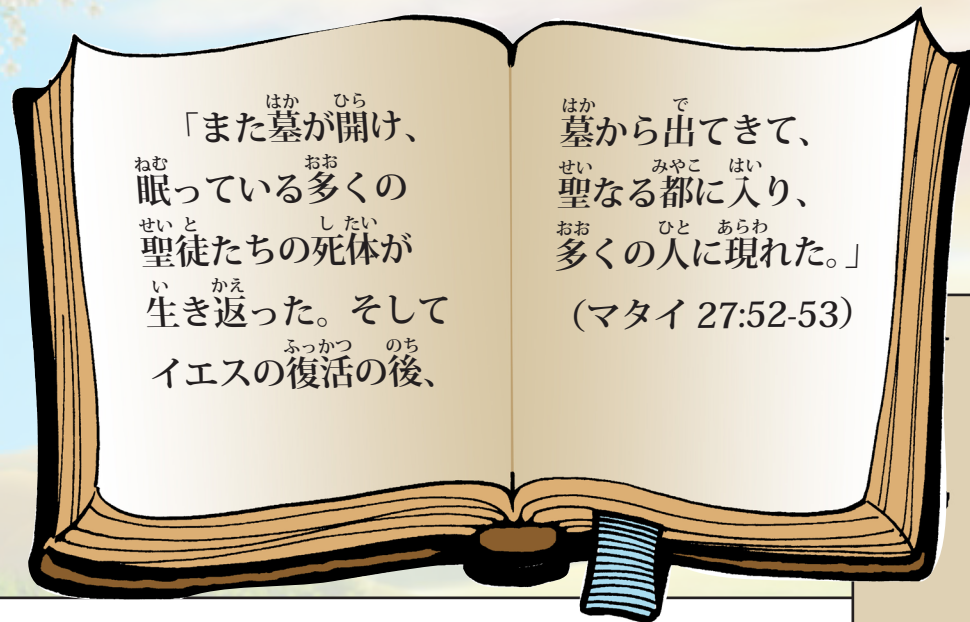
なんぜんねん
何千年もの間、過越の食事のために
小羊をほふることで彼らが象徴して
いたのは、イエス様の死だったんだ。
（ヨハネ 1:29） 神の小羊である

イエス様は、過越の小羊のほとんどが
ほふられていたのと同じ時間に
死なれた。そのことを考えて
ごらんよ！

おどろくべき事実 その4：薄気味悪い旧約聖書の聖人たち！



せいしょ 聖書には、うるき みわる で きごと きろく
イエス様がよみがえった直後に、死人が大勢生き返り、
エルサレム中で人々の前に現れたって、知ってたかい？



「また墓が開け、
眠っている多くの
聖徒たちの死体が
生き返った。そして
イエスの復活の後、

墓から出てきて、
聖なる都に入り、
多くの人に現れた。」
(マタイ 27:52-53)

イースターの日によみが
えったのは、イエス様だけ
じゃなかったんだ。
聖書には、「眠って」いた
聖徒たちの死体が生き
返り、イエス様の復活の
後に墓から出てきたと

書かれている。だから、
パウロが言っているように、
イエス様は死から
よみがえった最初の者で、
初穂だったということだ
(第1コリント 15:20,
23)。

主の復活の後、実際に
体が生き返って墓から出
てきた。彼らのある者たちは
エルサレムの町の中に入り、
大勢の人たちに現れて、
みんなの信仰をはげまそうと
したんだね。



おどろくべき事実 その5 : 隠ぺい！

ユダヤ人の指導者たちは、イエス様の弟子たちが死体をぬすみ出して彼がよみがえったなどと言いつらさないように、予防策を講じた。墓の出入り口を大きな石でふさぎ、封印したんだ。そこにローマ兵を置き、墓を見張らせたんだよ（マタイ 27:62-66）。主は、彼らが墓を石でふさぎ、封印し、ローマ兵が見張るのをゆるされた。それによって、主が確かに死からよみがえられたことが、一点の疑いもなく証明されるためだ！

そうでなければ、彼らは「弟子たちが石を転がして、イエスの体をぬすみ出しただけだ」と言っていたらうからね。

マタイによる福音書の28:11-15をよんでごらん。イエス様がよみがえるのを止められなかった後、敵が何とかしてイエス様の復活を隠ぺい（おおい隠すこと）しようとしたことが書かれているよ！

